第 14 講　【地誌編】東アジア
PART5 現代の韓国，アジアNIEs

Chapter1　現代の韓国

目標
「漢江の奇跡」とは何か，理解しよう。
韓国の工業地域の立地傾向を考えよう。

1　韓国の工業の変遷

1. 1950 ～ 60 年代：終戦と工業化の開始
・1953 年に〔　　　　　　　　〕が休戦。**農業**を基盤とした国づくりが進められた。
・1960 年代に**工業化**が開始。
→資源に恵まれず経済規模も小さい韓国では，原材料を輸入して製品を輸出する〔　　　　　　　　〕**型**の工業化が行われた。**繊維工業**など〔　　　　　　　　〕**型**の**軽工業**が中心。

2. 1970 ～ 80 年代：重化学工業化と「漢江の奇跡」
・重化学工業化を目指し，国内の〔　　　　〕と呼ばれる巨大な**企業集団**を中心に，産業振興が進められた。
・**アメリカ合衆国**や**日本**からの投資も増え，**鉄鋼業・石油化学工業**をはじめ，〔　　　　　　〕**・造船**などの**機械工業**も発達した。
→ 1960 年代以降の韓国の高度経済成長は，ソウルを流れる川の名前をとり**「〔　　　　〕の奇跡」**と呼ばれる。

3. 1990 年代：高度経済成長の終焉
・賃金の上昇による**国際競争力の低下**と，**アジア通貨危機**の影響で高度経済成長は終わる。
・〔　　　　〕（**国際通貨基金**）の介入を受け，**財閥**も整理された。

4. 現代：先端技術産業の隆盛
・造船や機械工業に加え，国家的なブロードバンド普及への取り組みの経験を活かし，現在は〔　　　　　　〕生産や **ICT 産業**をはじめとする**先端技術産業**が急成長。
・また，ドラマ・映画・音楽などのコンテンツを海外に輸出する事業も盛ん。

2 韓国の工業都市

・韓国では，国土の総合的な開発，また**財閥**が拠点を置く都市の工業化によって，全国に多くの**工業都市**が立地する。
・資源に乏しく国内市場も限られる韓国では，資源の**輸入**・製品の**輸出**に便利な〔　　　　　　〕に多くの工業地域がつくられた。

＜韓国の工業都市＞

都市	説明
〔　　　　　〕	日本の協力により，巨大な**製鉄所**が設けられた。
〔　　　　　　〕	**財閥**が拠点を置く企業城下町。国内最大の**自動車工業**の地であり，**造船業**も盛ん。
テグ	内陸部。繊維工業や機械工業。
プサン	古くから日本との交流が盛んで，現在は世界有数の巨大な**港湾**を有する。**機械工業**などが発展。
インチョン	ソウルの外港として発展。**鉄鋼業**のほか，**情報通信業**も発達。東アジアを代表する巨大な**ハブ空港**も。

韓国の工業地域

ポハンの製鉄所

インチョンの港

まとめ
1960年代以降の韓国の高度経済成長を指す。軽工業に始まり，重化学工業へと発展。
資源に乏しく国内市場も限られるので，貿易に適した臨海部に工業地域が立地する。

Chapter 2　ホンコン・台湾とアジアNIEs

目標
韓国と台湾の経済成長の共通点について，理解しよう。
ホンコンとシンガポールの貿易の共通点について，理解しよう。

1　ホンコン

・ホンコンは，中国の**特別行政区**である。
・ 19 ～ 20 世紀〔　　　　　　　　　〕の統治下で**貿易港**として発展し，**1997** 年に中国へ返還された。
・中国本土は**社会主義**であるが，ホンコンでは〔　　　　　　　　　〕が維持され，高度な自治が認められている。〔　　　　　　　　　　　〕。
・現在でも世界有数の**コンテナ取扱量**を誇る港湾を有し，〔　　　　　　　　　〕が産業の中心である。
・ガンジューアオ大橋の建設などによって，**ホンコン**と**チューハイ**と**マカオ**がつながり，人とモノの流通がより多くなった。

2　台湾

・ 1950 年代頃までは混乱の収束期であったが，1960 年代より**資本主義体制**のもとで，**輸出指向型**の**工業化**が進展。
　→ 1980 年代には**半導体**などの〔　　　　　　　　　　　　　〕が発達し，1990 年代以降は高い技術力を活かして精密機械や **IC**（集積回路）の輸出も多く行っている。
　→台湾の**ファブレス企業**が研究開発を行い，〔　　　　　　　〕などの **EMS 企業**が生産を請け負うという**分業体制**が構築されている。
・日本との連携も強まり，台湾最大の**半導体**メーカーの工場が**九州**につくられつつある。
・最大の工業都市は，南部の**カオシュン**。1960 年代後半に〔　　　　　　　　　　　〕に指定され，**石油化学工業**が盛ん。

3 アジアNIEs

・1970～80年代に工業化，急激な経済成長を果たした国や地域である〔　　　　〕・**ホンコン・台湾・シンガポール**を**新興工業経済地域**（〔　　　　　　　　〕）と呼ぶ。

・**ホンコン・シンガポール**は人口・面積が小さいため国内向け産業よりも〔　　　　　　　〕が発達。また，国内賃金が高いので，人を多く必要とする工場などは立地せず，**知識集約型産業**や**金融センター**などが立地している。

・**韓国**と**台湾**は**外資**の導入により工業化が進み，韓国は〔　　　　　　〕や**鉄鋼**，台湾は**精密機械**をはじめとした製品の輸出が多い。近年では，経済成長により**知識集約型産業**が増えている。

＜人口・GNI・1人当たりGNI＞

国・地域	人口（2020年）	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
韓国	5,127万人	1兆6,610億ドル	33,790ドル
ホンコン	750万人	3,814億ドル	50,480ドル
台湾	2,382万人	6,256億ドル	26,514ドル
シンガポール	585万人	3,297億ドル	58,390ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

＜輸出品目（2020年・%）＞

	韓国	ホンコン	台湾	シンガポール
1位	機械類（44.7）	機械類（70.0）	機械類（60.6）	機械類（50.5）
2位	自動車（10.4）	金（8.2）	精密機械（5.1）	石油製品（7.3）
3位	石油製品（4.5）	精密機械（4.3）	金属製品（3.5）	精密機械（5.1）
4位	鉄鋼（4.3）	ダイヤモンド（1.9）	プラスチック（3.3）	金（4.4）
5位	化学薬品（4.0）	衣類（1.5）	自動車（2.9）	化学薬品(3.0)

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

まとめ

外資の導入により輸出指向型工業を推進。近年は知識集約型の先端技術産業が発達。

大規模な貿易港を有し，機械類を輸入し他の国へと輸出する中継貿易が発達。

第14講　PART5　確認問題

1　韓国の工業の変遷について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1960年代に工業化が始まり，当初は輸入代替型の工業化が行われた。
② 1960年代は，繊維工業をはじめ労働集約型の軽工業が中心であった。
③ 1970～80年代は，アメリカ合衆国や日本からの投資が増えた。
④ 韓国の高度経済成長期は「漢江の奇跡」と呼ばれる。

2　韓国の高度経済成長が1990年代に終焉した要因の一つはどれか。

① アジア通貨危機　② 第1次オイルショック
③ 第2次オイルショック　④ リーマンショック

3　ウルサンで発達している工業はどれか。

① アルミニウム工業　② 自動車工業
③ 繊維工業　④ 鉄鋼業

4　ソウルの外港として発展し，ハブ空港がある都市はどこか。

① インチョン　② テグ
③ プサン　④ ポハン

5 ホンコンについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① イギリスの統治下で貿易港として発展し，1997年に中国へ返還された。
② 社会主義が維持され，一国二制度がとられている。
③ 世界有数のコンテナ取扱量を誇る港湾を有し，中継貿易が盛んである。
④ 交通網が整備され，経済特区のチューハイとつながっている。

6 台湾について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1960年代より資本主義体制のもとで，工業化が進展した。
② 1980年代以降は高い技術力を活かして，先端技術産業が発達した。
③ 現在は，中国本土のファブレス企業が研究開発を行い，台湾のEMS企業が生産を請けている。
④ 最大の工業都市である南部のカオシュンには，輸出加工区が設置されている。

7 アジアNIEsのうち，中継貿易が特に盛んな国および地域の正しい組み合わせはどれか。

① 韓国と台湾　② 韓国とホンコン
③ シンガポールと台湾　④ シンガポールとホンコン

8 アジアNIEsのうち，1人当たりGNIが最も高いのはどこか。

① 韓国　② シンガポール
③ 台湾　④ ホンコン

第14講　PART5　確認問題 解答

1 解答：①

韓国は，資源に恵まれず経済規模も小さい。そのため，工業化の初期より原材料を輸入し製品を輸出する**輸出指向型**の工業化が行われた。

2 解答：①

韓国では，タイの通貨であるバーツの暴落を発端に 1997 年に起こった**アジア通貨危機**と，賃金の上昇による国際競争力の低下などにより高度経済成長が終わった。

3 解答：②

日本海に面する**ウルサン**は**自動車工業**の集積地として知られるほか，造船業も見られる。

4 解答：①

ハン川河口部に位置する**インチョン**はソウルの外港として発展し，ハブ空港を有する。

5 解答：②

中国は社会主義の国であるが，ホンコンなどでは**資本主義**の維持が認められている（**一国二制度**）。

6 解答：③

現在増えている分業の形態は，**台湾**の**ファブレス企業**が研究開発を行い，**中国本土**の **EMS 企業**が生産を請け負うというもの。前者は自社で工場を持たない企業，後者は製品の製造に特化した企業をいう。

7 解答：④

アジア NIEs のうち，特に人口が少なく面積も小さい**シンガポール**と**ホンコン**は，**中継貿易**が盛んであり，貿易依存度も高い。

8 解答：②

アジア NIEs のうち，1 人当たり GNI が最も高いのは，**シンガポール**である（2019 年）。シンガポールはアジア NIEs の中で最も早く工業化が進んだ。